

「きまりごと」

どの時代も いろいろ きまりごとがある  
今もあると いい話 と思うのは

江戸時代から 大店の 退職制度

小ざらし かる 習題 手むつとめて

退職する時 ひとつの長屋 をもちまわ

十千と ほとの家々とし は

その後の収入になる

これは 下ばらし

でも 大店 以外は

そのようにならないうらしい

現在 町人の とわ

あだりの 駅名が オビス

オビステ山 という話を 聞いたことがある

村のオビテ うちの

息子が 年おりの母を 少しの食料と若ん

山の中に 母を おいてく

年より は そこで 一生 終るとなる

その話木 っブいて いろいろ

記者が オビステ

紙か 紙の名前は何かの

とフンがさ する

それもさういふことがあろう

昨日 さいにけし

体座 百才の男性のふもつをとりかえ

とのこと

リフトを便していふものの 大変な仕事

何うそりしていふ へいどい を思っている

何とかさうなりのかと胸がたたく

世の中 いろんなさういふこと がある

だれにも同じさう

やさしいルールの中

すかさと思ふ

2024  
8/8